

# 港北区イコット通信

港北区明るい選挙推進協議会

第91号

令和2年12月発行



## せんきょフォーラム実施報告

8月24日に新吉田第二小学校（6年生）で模擬投票を実施しました。選挙の内容は「運動会の応援団長選挙」。（当選者は2名）12名の児童が立候補し、立候補者演説では児童本人がみんなの前に立ち、応援団長になりたいという熱い想いを伝えました。実施後にとったアンケートでは、95%の児童が「18歳になったら選挙に行きたいと思う」と回答し、理由として「今回の授業で選挙の大切さが分かったから」、「難しいと思っていたけど簡単で楽しかった」などが挙げられ、啓発の効果を実感することができました。



**アンケート結果（抜粋）**  
模擬投票はどうでしたか？  
①楽しかった 61人  
②簡単だった 17人  
③難しかった 2人  
18歳になったら選挙に行きますか？  
①行きたいと思う 75人  
②行きたいと思わない 4人



## 啓発グッズの作成

選挙啓発のため、エコバッグを作成しました！！  
レジ袋の有料化に伴い、エコバッグを使用する機会が増えたと思います。  
色は港北区カラーの緑色にしました！  
本通信と一緒に1つ同封しましたのでぜひ、ご活用ください！



## 明るい選挙推進委員・推進員の改選

来年5月に開催される令和3年度第1回定例会をもって現推進委員・推進員の任期が満了となります。2年間大変ありがとうございました！！  
今後、連合町内会及び自治会町内会へ推進委員・推進員の推薦を依頼します。引き続き、ご協力いただける方も大歓迎です！  
よろしくお願いいたします！



## コラム 「アメリカ大統領選挙のしくみ」



白熱した戦いを繰り広げたアメリカ大統領選挙。  
日本の選挙制度とは異なり、複雑で難しい仕組みをしていますよね・・・  
そこで、今回はアメリカ大統領選のしくみについてピックアップしていきます！！

**1** アメリカ大統領選挙は、4年に1度に行われ  
投票日は、「11月の第1月曜日の翌日の火曜日」  
と150年以上前に制定された連邦法に定められて  
います。(今回は11月3日)

参考サイト：NHK「1分で分かる選挙の仕組み」

**2** 有権者は・・・事前に登録した  
18歳以上のアメリカ国民

**3** その有権者たちが、大統領にふさわしいと思う  
人に投票をします。

しかし！全米の総得票数で勝者を決めるわけ  
ではないのです！！

**4** 投票は州ごとに行われ、それぞれの州  
で勝者を決定します。

**5** 各州と首都ワシントンには、  
人口などに応じて割り当てられた「選挙人」があり、  
州の勝者は、その州の選挙人を獲得します。

州によって選挙人の数は異なり、ほとんどの州で、  
勝者が州の選挙人をすべて獲得する、勝者総取りの  
方式を採用しています。

**6** そして全米の538人の選挙人のうち、  
過半数の270人以上を獲得した候補が、  
最終的な勝者…次期大統領となります。

例えば・・・

カリフォルニア州で勝者となった候補は、  
カリフォルニア州に割り当てられた選挙人55人すべてを  
獲得する。



～ END ～

## 編集後記

今年も残すところわずかとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響により区内イベントが立て続けに中止となり、啓発の場が限られてしまった中で色々模索しながら取り組んだ1年でした。

新型コロナウイルス感染症が終息し、また皆様と一緒に啓発活動ができる日を楽しみにしています。

お体に気をつけて良い年をお迎えください。来年もどうぞよろしくお願いいたします。



【編集・発行】

港北区明るい選挙推進協議会

【事務局】

港北区役所総務課統計選挙係

